

令和3年度 文教委員会資料①

【所管事務の調査（報告）】

英国代表チーム事前キャンプ受入れ結果について

資料

英国代表チーム事前キャンプ受入れ結果について

市 民 文 化 局

（令和3年10月5日）

英国代表チーム事前キャンプ受入れ結果について



令和3(2021)年10月5日
市民文化局オリンピック・パラリンピック推進室

1 英国代表チーム事前キャンプ受入れ結果 概要

英国代表チーム事前キャンプ 全体の規模 オリンピック代表チーム 約630人、パラリンピック代表チーム 約190人

川崎市（川崎市等々力陸上競技場）

- オリンピック代表チーム
期間：令和3年7月2日～8月5日
(トレーニング使用期間 7月9日～8月1日)
人数：約200人
競技：サッカー、ラグビー、陸上競技
- パラリンピック代表チーム：
期間：令和3年8月11日～9月2日
(トレーニング使用期間 8月14日～30日)
人数：約90人
競技：陸上競技



横浜市（横浜国際プール）

- オリンピック代表チーム
期間：令和3年7月12日～8月5日
(トレーニング使用期間 7月12日～31日)
人数：約50人
競技：競泳、飛込
 - パラリンピック代表チーム 受入れなし
- ※両代表チーム受入れ期間を通じ、横浜カン
トリークラブ及びパシフィコ横浜ペDESTリアン
デッキをランニングやトレーニング用に使用



慶應義塾大学日吉キャンパス

- オリンピック代表チーム
期間：令和3年7月8日～8月7日
(トレーニング使用期間 7月9日～8月1日)
人数：約400人 (トレーニングのみの使用を含む)
競技：アーチェリー、バドミントン、水泳競技、
ボクシング、フェンシング、体操競技、柔道、ホッケー、
近代五種、ウエイトリフティング、テコンドー、
卓球、ボート、自転車 等24種目



- パラリンピック代表チーム
期間：令和3年8月13日～9月1日
(トレーニング使用期間 8月14日～9月1日)
人数：約100人
(トレーニングのみの使用を含む)
競技：アーチェリー、バドミントン、柔道、テコンドー、
パワーリフティング、ウィルチェアフェンシング、
ボート、馬術

- 英国代表チーム事前キャンプ期間中、川崎市・横浜市・慶應義塾大学の三者合同運営本部をみなとみらい地区ホテル内に設置し、本市職員も常駐して、毎日夕刻に定例オンラインミーティングを開催するなど、情報共有を行った。また、川崎市運営事務局を等々力陸上競技場に設置し、7:30～21:00の時間帯で運営を行った（状況により事務局運営時間は変動）。

2 本市での事前キャンプ受入れ結果 「オリンピック代表チーム」

● トレーニングスケジュール等

・7月9日のサッカー（女子）のトレーニングに始まり、ラグビー、陸上競技と続き、8月1日の陸上競技の練習をもって全てのトレーニングが終了

サッカー（女子）7月9日～16日 約40人

ラグビー（男子）7月16日～21日

（女子）7月19日～24日

合計 約40人

陸上競技 7月16日～8月1日

約120人



● オリンピック競技大会での成績

サッカー（女子）ベスト8

ラグビー 男女ともベスト4

陸上競技 銀メダル3、銅メダル3

※総メダル獲得数 65個・4位



事故も発生せず、新型コロナウイルス感染症に感染した選手・スタッフもおらず、素晴らしい施設で最高のトレーニングを行うことができた、選手・スタッフから感謝の言葉をいただいた。

● 施設の使用状況

・トレーニング開始前に英国専門業者によるハイパフォーマンスジムの機材搬入・設営作業やキャンプで使用する家具や映像機器、備品類などの大型荷物の搬入・設置が発生

・選手はトラック、フィールドでのトレーニングのほか、屋内トレーニングジム、フィジオルームを使用



・サッカー、ラグビーは午前・午後に分けてのトレーニング、陸上競技は定時運行の専用のシャトルバスを利用してトレーニングを実施

・陸上競技投てき種目は補助競技場にて砲丸投げ、円盤投げ、ハンマー投げ、やり投げ練習

・台風対応以外大きな一時撤収作業等はない

● 公開練習

・ラグビー（男子）の公開練習 7月17日（土）午前
参加者約150人（川崎市内ラグビースクール参加者等）



・陸上競技の公開練習 7月25日（日）午前
参加者約350人（市立中学・高校、特別支援学校、市内陸上クラブ参加者等）



2 本市での事前キャンプ受入れ結果 「パラリンピック代表チーム」

● トレーニングスケジュール等

- ・8月14日に陸上競技のトレーニングが始まり、8月30日に終了
- ・BOAとは異なり等々力競技場に常駐するBPAの専属スタッフはおらず、陸上チームのスタッフが適宜対応
- ・陸上競技のみの受入れであり、選手、コーチ、スタッフ併せて約90人と、オリンピック代表チームと比較して人数や搬入機材が少ないため比較的落ち着いたキャンプ運営となった。



● 公開練習等

- ・新型コロナウイルス感染症拡大状況から公開練習等は実施せず（BPA内部でも厳格なバブルレベル対応により、外部の英国関係者の来訪なし）
- ・陸上チームの協力により市立学校の児童・生徒あてビデオメッセージを撮影



● パラリンピック競技大会での成績

陸上競技 金メダル9、銀メダル5、銅メダル10
※総メダル獲得数 124個・2位



● シャトルバスの運行・乗降

- ・車いす利用選手も利用できるよう、スロープ又は電動リフト付き福祉車両によるシャトルバス運行（本市田島支援学校のスクールバス及び旅行代理店手配の車両による運行 ※いずれも運行はBPA手配）
- ・等々力陸上競技場での乗降は南側スロープを使用
- ・選手の動線上にサポーターによる応援メッセージボードなどで装飾
- ・感染症予防のため、選手側から求められた場合のみ、バス乗務員が選手の乗降を介助



● トレーニング風景・施設の使用状況

- ・トレーニングジム、フィジオルーム、選手・スタッフ用ラウンジなど、BOAが準備した部屋及び機材類をBPAも引き続き使用



- ・投てき種目のトレーニングは本競技場のフィールドを使用
- ・トラック・フィールド以外に、屋内でも用具のチューンアップやトレーニングを実施



選手・スタッフから、「パーフェクトなトレーニング施設」「これまで経験した事前キャンプで最高のおもてなし」等のコメントを数多くいただいた。

3 「英国代表チーム川崎キャンプサポーター」の活動

●「英国代表チーム川崎キャンプサポーター」の概要

- ・7月12日時点での事前キャンプ従事予定者 132人、実際の従事者は118人
(両代表チーム事前キャンプ従事者74人、BOAのみ従事者31人、BPAのみ従事者13人)
- ・サポーターは1シフト5時間、1日3シフト体制でおおむね8:30から20:30までの時間帯で活動
(ホテルでの活動は1シフト8時間、1日2シフト体制で横浜市ボランティアと合同で活動)
- ・シフト毎にチームで競技用具の運搬・設置、競技場へ出入りする車両の管理、人的バブル形成などの各種活動へ従事
- ・空いた時間を活用して主体的に選手への応援メッセージの作成や折り紙等を使用しての応援・思い出グッズを作成しプレゼントするなど、創意工夫して多彩な活動を展開
- ・サポーターの応援や見送りの様子などを多くの選手が自身のSNSで発信するなど、コロナ禍により直接交流ができないなかでも、温かな心の交流が日々展開された。
- ・本市の事前キャンプ受入れに貢献した団体として、法政二高、田島支援学校及び運行会社とともに、内閣官房「ホストタウン功労者」功労賞を受賞



●主な活動内容

- ・車両ゲートの管理（ゲート開閉、車両番号の記録、行先確認など）
- ・用具の運搬・設置（投てきケージ設置、ハードル・スターティングブロック等の搬出入、高跳びなどの用具セットアップ・片付けなど）
- ・ヘルプデスク対応（選手・スタッフの御用聞き）、通訳・翻訳
- ・補助競技場へ移動する際の人的バブル形成
- ・「みどりのおもてなし」活動のサポート
- ・レンタカー利用時等のバブル形成（ホテルのみ、駐車場移動時）



●選手・スタッフへのおもてなし活動

- ・バス到着・出発時のお出迎え・お見送り
- ・選手応援用サインボードの設置
- ・選手・スタッフ向けネームカードの作成
- ・折り紙などでプチギフトを制作



- 関係者専用SNS（Workplace by Facebook）を活用し、サポーター事務局からの情報発信や、サポーター間の活動報告の共有・引継ぎを事前キャンプ期間中継続して実施

4 応援機運の醸成、おもてなし・交流

● 広報・競技場周辺及び内部の装飾

- ・英国関連写真巡回展（6月14日から8月31日まで各区（区役所・市民館のロビー等）を巡回）の開催
- ・JR南武線ヘッドマーク・側面ラッピング（2020年3月から2021年9月3日まで）
- ・7月上旬から市内全駅（一部駅を除く）構内でのポスター掲出、JR南武線・鶴見線全編成の窓上ポスターの掲出等
- ・7月上旬から競技場周辺・競技場内にウェルカムゲート、階段ラッピング、横断幕、バナーフラッグなどを掲出
- ・6月25日から9月2日まで、競技場エントランス、競技場前広場、中央園路グリーンベルト内にイングリッシュガーデンを模した英国歓迎の植栽「みどりのおもてなし」を展開



●英国代表チーム川崎キャンプ推進協議会による広報・機運醸成とおもてなし

- ・市内駅貼りポスターの製作、協議会会員企業によるポスター・のぼり旗の掲出
- ・等々力陸上競技場メインスタンド・エントランス内に「夏に咲く桜」、「水引作品」、「きもの（振袖・花結び）・羽織れるきもの」を展示。選手のSNSや英国メディアで紹介。選手・スタッフにホストタウンフレーム切手、水引ストラップ、生田の天然水（恵水）等をプレゼント



●小学生等によるメッセージカードの掲出

- ・競技場メインエントランス内ホールに地元小学生等が作成したメッセージカードを展示、サポーターが折り紙などで飾りつけ
- ・BOA/BPA選手・スタッフもバス待機中に熱心にメッセージを確認



●メッセージ入りフラッグの掲出

- ・各種イベント出展時の市民による寄せ書きGOGBフラッグと市内小学生の応援メッセージ入りの英国旗を贈呈（帰国後、英国トレーニングセンターに設置予定）



●市内小・中・高校生とのビデオ交流

小・中・高校生等から英国代表チームに向けたビデオメッセージを送付。英国代表チームの選手から直接又はSNSによりお礼のビデオメッセージが届いた。



●田島支援学校との間接交流

- BPAの選手・スタッフの移送用に田島支援学校のスクールバスを貸与する準備を進めるなかで、昨年度からスクールバスに装飾を行うとともに、事前キャンプ時のパラ陸上選手等との交流事業を検討していた。
- コロナ禍で交流事業の実現がかなわなかったため、パラ陸上選手からのメッセージ動画とサイン入りシャツを本市が受領し、選手に代わって市職員が届けるなど、間接的な交流を行った。



●選手のサイン入りボードやサイン入り使用グッズの提供

今後広く市民の目に触れるよう市内イベント等で展示



●東京2020パラリンピック聖火川崎市採火式

- 英国パラリンピック代表チーム事前キャンプ初日の8月14日、等々力緑地で行われた採火式へBPA及び英国陸上チームスタッフが来賓として出席、コロナ禍での事前キャンプ受入れへの感謝と「かわさきパラムーブメント」との連携についてコメントをいただいた。



5 感染症対策等

● 感染予防・陽性者等発生時の対応

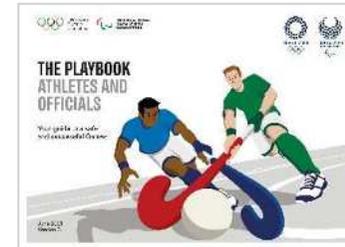
- ・事前キャンプ期間中は、国の指針に基づき定期的なPCR検査を実施（選手団及び選手団と密になり得るホストタウン側のスタッフについては毎日、その他のスタッフやボランティア等については4日毎又は7日毎に検査を実施）
- ・練習会場や宿泊施設などの各受入れ施設に英国バブルを設置し、日本側スタッフの出入りを厳しく制限
- ・英国オリンピック・パラリンピック代表チーム及び本市関係者からは新型コロナウイルス感染症の陽性者は発生せず
- ・選手・スタッフが陽性となった場合は「神奈川モデル」にて対応（選手・スタッフの検査や陽性疑い時の再検査等の対応は横浜市が慶應義塾大学と連携して実施）
- ・選手団は選手村へ移動した後は組織委員会の責任の下、プレイブックに基づく感染症対策を実施

【BOA受入れ期間】

陸上選手団が搭乗した便で陽性者が発生し、10名の選手・スタッフが濃厚接触者と特定されたため、対象の選手・スタッフは国が定める指針に沿い14日間の隔離生活を送りながら等々力陸上競技場でのトレーニングを実施

【BPA受入れ期間】

三重県鈴鹿市で事前キャンプを行う英国代表競泳チームに陽性者が発生



● 医療

- ・事前キャンプ中選手団に大きなケガ・病気等の発生なし
- ・オリンピック代表チームについては、コンタクトスポーツにおいてMRI撮影のため慶應義塾大学のドクターを通じて横浜市内の医療機関の予約・受診実績あり（川崎市内医療機関の利用はなし）
- ・パラリンピック代表チームについては、ホストタウン側での医療機関利用はなし
- ・選手村開村後は、選手団は選手村内に開設されている医療機関を利用

● 移動

- ・国の指針により、選手・スタッフはホストタウンでの練習会場や選手村、事前に登録した用務先等のみ訪問が可能
- ・移動は全て専用車両を使用（借上げバス、ハイヤー、レンタカー）
- ・空港から宿舎への移動及び宿舎から選手村等への移動には、国の指針によりアテンドを手配
- ・選手団の空港利用時、等々力陸上競技場の補助競技場への移動や、宿泊施設から駐車場への移動、みなとみらい地区ペDESTリアンデッキへの誘導時など、選手団がバブル外で移動する際には、国の指針によりアテンドやボランティア等による人的バブルを形成して動線分離



6 事前キャンプの情報発信

●英国オリンピック代表チーム事前キャンプ期間

・BOAによる英国メディアデーの実施

BBC, SKY News, ITVなどの英国メディアを招いた放送事業者向けメディアデーをBOA報道担当が主催し、事前キャンプの様子や選手インタビュー等を等々力陸上競技場から一部中継で英国向けに配信

7月15日 サッカーメディアデー
7月20日 ラグビーメディアデー
7月21日～23日 陸上競技メディアデー



・川崎市メディアデー

川崎記者クラブに所属する報道各社向けに本市が主催。なお、競技場内での練習風景の取材については、BOA側の要請により放送事業者のみを対象とした。

7月 9日 サッカーチーム練習初日
7月17日 ラグビー（男子）公開練習開催日
7月20日 ラグビー（男子・女子）
7月25日 陸上競技 公開練習開催日



●英国パラリンピック代表チーム事前キャンプ期間

・BPAによる英国メディアデー

感染症予防のため、BPAによる英国メディア対応はすべて本国でのオンラインによる実施となり、競技場内での英国メディア対応はなし

・川崎市メディアデー

川崎記者クラブに所属する報道各社向けに本市が主催。感染症予防の観点から、選手のトレーニング風景の撮影やインタビュー取材を行うことができないため、屋外で選手のバスの乗降の様子の取材、サポーター向けインタビュー取材のみの対応となった。

8月20日 陸上競技



●英国選手団のSNS上での情報発信

- ・等々力陸上競技場でトレーニングを行った選手がツイッター、インスタグラム等で、等々力陸上競技場を背景とした自身の写真や練習風景をコメント付きで多数紹介
- ・特にサポーターによるおもてなしについては、サポーターと記念写真を撮影し、好意的なコメント付きで紹介
- ・パラリンピック代表チーム受入れ時にはサポーターによるおもてなしの進化により、メッセージカードを持った姿や着物を羽織った姿を選手がSNS上で発信し、一部インターネットニュースサイトでも取り上げられるなど、本市の事前キャンプでのおもてなしの様子がインターネットを通じて広く閲覧された。



●選手からの感謝の言葉

- ・東京パラリンピック競技大会での陸上決勝後の選手インタビューの際に、ジョニー・ピーコック選手（T64 100m銅メダル、4×100mユニバーサルリレー銀メダル）より事前キャンプ地のボランティアあて感謝の言葉が寄せられた。



7 事前キャンプ受入れ結果の記録・共有

●事前キャンプ受入れの様子の記録（アーカイブ事業）

- ・事前キャンプ受入れの様子を記録として残すことを目的に、ビデオ及びスチルカメラで事務局運営やサポーター活動の様子、選手のトレーニング風景、公開練習の様子等を撮影し、これを映像によるアーカイブとして編集するほか、数十秒程度の動画に再編集し、市内のサイネージやイベントなどで発信していく予定
- ・感染状況にもよるが、東京大会で活躍した選手や支えた英国スタッフに対し、受入れの様子をお送りし、事前キャンプの成果などに関する意見交換などを行う事後交流について検討
- ・事前キャンプ受入れの経過・記録を記録資料としてとりまとめ庁内外へ発信



●サポーター活動の振り返り・活動結果の共有

- ・サポーター間での活動結果の共有、活動を通じた意見等の集約、今後の類似事業への経験の継承などを目的に、事前キャンプに従事したサポーター向けの成果報告会を年内に開催予定
- ・事前キャンプ現場でのサポーター活動を行った実働人数は、登録当初の人数から大幅に減少したが、コロナ禍で直接的な選手・スタッフへのサポート活動が減少した代わりに、手作りメッセージや作品による応援・おもてなし活動を活発に行い、選手・スタッフに大変感謝された。



●横浜市・慶應義塾大学と合同で運営するGOGGBウェブサイトのアーカイブ化

- ・2018年8月に3者で東京 2020 大会英国代表チーム事前キャンプ応援サイト「GOGGB2020ウェブサイト」を開設し、年度毎にコンテンツを更新・追加するとともに、ニュース・イベント情報を随時更新
- ・東京2020大会における英国代表チームの成績やイベント情報などの最終更新を行った上で、サイト開設以降のコンテンツの蓄積を整理し、これまでの取組の経過・成果を対外的に共有できる形で保存するアーカイブ化作業を実施

